

VII. 計算書類に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却について
什器備品・無形固定資産・一括償却資産
…定額法による減価償却を実施している。尚、一括償却資産については税法上認められた減価償却方法によっている。
- (2) 引当金の計上基準について
賞与引当金…翌期支払賞与の当期該当期間金額を計上している。
退職給与引当金…期末退職給与の要支給額に相当する金額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)				
科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産特定資産				
定期預金	5,000,000	-	-	5,000,000
特定資産				
退職給与引当資産				
普通預金	540,943	3,897	-	544,840
定期預金	10,000,000	-	-	10,000,000
小 計	10,540,943	3,897	-	10,544,840
大会準備金他資産				
普通預金	2,562,172	410	-	2,562,582
定期預金	3,662,560	3,897	-	3,663,219
定額貯金	500,000	-	-	500,000
小 計	6,724,732	4,307	-	6,725,801
基金特定預金				
定期預金	16,400,883	300	350,000	16,051,183
固定資産購入積立金				
普通預金	322,296	200,000	420,525	101,771
定期預金	4,420,000	-	420,000	4,000,000
小 計	4,742,296	200,000	840,525	4,101,771
引越積立金				
定期預金	4,000,000	-	-	4,000,000
合 計	47,408,854	208,504	1,190,525	46,423,595

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

(単位:円)				
科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する 額)
基本財産特定資産				
定期預金	5,000,000	-	(5,000,000)	-
特定資産				
退職給与引当資産	10,544,840	-	-	(10,544,840)
大会準備金他資産	6,725,801	-	(6,725,801)	-
基金特定預金	16,051,183	(8,700,000)	(7,351,183)	-
固定資産購入積立金	4,101,771	-	(4,101,771)	-
引越積立金	4,000,000	-	(4,000,000)	-
	41,423,595	(8,700,000)	(22,178,755)	(10,544,840)
合 計	46,423,595	(8,700,000)	(27,178,755)	(10,544,840)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)			
科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	3,697,498	3,648,117	49,381
リース資産	13,689,900	5,888,400	7,801,500
ソフトウェア	4,305,525	2,868,303	1,437,222
一括償却資産	701,030	518,120	182,910
合計	22,393,953	12,922,940	9,471,013

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額内訳は、次のとおりである。

(単位:円)	
内 容	金 額
経常収益への振替額	
寄付金の一部指定解除による振替額	300,000
合 計	300,000